

問1 環境保全と経済発展の両立を目指し、1992年にブラジルで開かれた会議を何という？

1. 生物多様性条約締約国会議 2. 地球サミット 3. 気候変動枠組条約締約国会議 4. 国連人間環境会議

問2 地球温暖化の主な原因であり、その排出量を世界全体で実質ゼロにすることが目指されている物質を何という？

1. 温室効果ガス 2. 揮発性有機化合物 3. 微小粒子状物質 4. 光化学オキシダント

問3 化石燃料の使用を減らし、温室効果ガスの排出を実質ゼロにしようとする社会を何という？

1. 脱炭素 2. 省エネルギー 3. 資源リサイクル 4. 公害防止

問4 二酸化炭素など、地球温暖化の主な原因となる物質の総称を何という？

1. オゾン層破壊物質 2. 微小粒子状物質 3. 酸性雨原因物質 4. 温室効果ガス

問5 京都議定書に続く、すべての国が参加して地球温暖化対策に取り組む現在の国際的な枠組みを何という？

1. 京都議定書 2. ワシントン条約 3. パリ協定 4. 核拡散防止条約

問6 2015年に国連で採択された、持続可能な世界を実現するための17の国際目標を何という？

1. ODA 2. NPO 3. SDGs 4. CSR

問7 ゴミの発生抑制・再使用・再資源化の三つの取り組みをまとめて何という？

1. ESG投資 2. クリーンエネルギー 3. 3R 4. 環境負荷低減

問8 パリ協定で、世界の平均気温の上昇を抑えるための努力目標として掲げられている気温差を何という？

1. 2度 2. 2.5度 3. 3度 4. 1.5度

問9 温室効果ガスの排出量と吸収量をプラスマイナスゼロにする社会のあり方を何という？

1. 情報化社会 2. 循環型社会 3. 脱炭素社会 4. 高度経済成長社会

問10 廃棄物の発生を抑え、資源を無駄なく利用することで環境負荷を減らす社会の仕組みを何という？

1. 持続可能な社会 2. 少子高齢化社会 3. 循環型社会 4. 多文化共生社会

問11 容器包装や家電など、特定の製品ごとに適切な処理を義務づけた法律を総称して何という？

1. 家電リサイクル法 2. 個別リサイクル法 3. 自動車リサイクル法 4. 容器包装リサイクル法

問12 地球温暖化を防ぐために、先進国と途上国が協力して温室効果ガスの削減を目指す国際的な取り決めを何という？

1. ラムサール条約 2. モントリオール議定書 3. パリ協定 4. 京都議定書

問13 資源の有効利用を促進するために、製品の設計や廃棄に関するルールを定めた日本の法律を何という？

1. 資源有効利用促進法 2. 特定家庭用機器再商品化法 3. 容器包装リサイクル法 4. 循環型社会形成推進基本法

問14 京都議定書に盛り込まれた、国同士で二酸化炭素などの削減量を売り買いできる仕組みを何という？

1. 環境アセスメント 2. 排出量取引 3. クリーン開発メカニズム 4. 共同実施

問15 再生可能エネルギーで発電された電気を、電力会社が一定の価格で一定期間買い取ることを国が義務付けた制度を何という？

1. 固定価格買取制度 2. 省エネルギー診断制度 3. 排出量取引制度 4. 環境税導入制度

問16 地球温暖化を防ぐために、世界中の国々が目標達成を協力してめざす国際的なルールを何という？

1. ジュネーブ議定書 2. ヘルシンキ宣言 3. 京都議定書 4. パリ協定

答え合わせ・解説

問1	答え 2 地球サミット	正式名称は「国連環境開発会議」です。この会議では「持続可能な開発」という考え方が世界的に共有され、その後の環境保護活動の指針となる「アジェンダ21」などが採択されました。
問2	答え 1 温室効果ガス	二酸化炭素やメタンなどが代表的で、太陽からの熱を地球に閉じ込める役割を持ちます。しかし、濃度が高まりすぎると地球全体の平均気温を押し上げ、気候変動を引き起こすため、世界中で排出量を抑える努力が求められています。
問3	答え 1 脱炭素	脱炭素とは、温室効果ガスの排出を実質的にゼロにする取り組みのことです。これには排出を抑えるだけでなく、森林の育成などで二酸化炭素を吸収し、差し引きゼロを目指すカーボンニュートラルの概念が含まれます。
問4	答え 4 温室効果ガス	主な物質には二酸化炭素（CO2）やメタン、フロンなどがあります。これらが太陽からの熱を地表に留めてしまうため、地球全体の平均気温が上昇する「温室効果」を引き起こします。
問5	答え 3 パリ協定	パリ協定は、2015年にフランスのパリで開かれたCOP21で採択されました。大きな特徴は、先進国だけでなく、途上国を含むすべての国が参加し、自主的に削減目標を立てて取り組むという仕組みを採用した点です。
問6	答え 3 SDGs	SDGsは「持続可能な開発目標」の略称です。「誰一人取り残さない」を理念に掲げ、貧困、不平等、環境問題など17の分野で目標を設定しています。政府だけでなく、民間企業や自治体、私たち個人の活動も問われています。
問7	答え 3 3R	3Rは「Reduce（リデュース：発生抑制）」「Reuse（リユース：再使用）」「Recycle（リサイクル：再資源化）」の頭文字をとったものです。まずはゴミを出さない、次に物を大切に使う、最後に資源として活用するという優先順位で取り組むことが大切とされています。
問8	答え 4 1.5度	パリ協定では、産業革命前と比較して世界の平均気温の上昇を「2度より十分低く抑える」ことを目指し、さらに「1.5度に抑える」ことを努力目標としました。この0.5度の差が、サンゴ礁の減少や海面上昇の被害を大きく分けるため、非常に重要な境界線とされています。
問9	答え 3 脱炭素社会	脱炭素社会（カーボンニュートラル）は、化石燃料によるエネルギーを極力使わず、再生可能エネルギーを中心に生活を組み立てる社会です。どうしても排出される分については、植林や二酸化炭素の直接回収技術を使って相殺します。
問10	答え 3 循環型社会	循環型社会とは、一度使った製品をゴミとして捨てるのではなく、資源として回収・再生することで、天然資源の消費を抑えながら経済活動を行う社会です。「循環型社会形成推進基本法」などの法律に基づき、国や企業、家庭が協力してゴミの排出抑制に取り組んでいます。
問11	答え 2 個別リサイクル法	「容器包装リサイクル法」や「家電リサイクル法」など、製品ごとの特性に合わせたリサイクルを促進するための法律群です。製造業者や販売業者、消費者にそれぞれの役割分担を課すことで、効率的な再資源化を図っています。
問12	答え 3 パリ協定	気候変動対策として、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比較して2度未満、できれば1.5度に抑えることを目標としています。全ての参加国が削減目標を作成・提出することが義務付けられました。
問13	答え 4 循環型社会形成推進基本法	資源の有効利用を促進し、環境負荷を減らすことを目的とした法律です。製品の設計、製造、使用、廃棄の各段階で、資源の再資源化や廃棄物の減量化を具体的に進める枠組みを定めています。
問14	答え 2 排出量取引	削減目標を上回って達成した国は、余った「排出枠」を他の国に売ることができます。逆に目標達成が困難な国は、この枠を購入することで調整できます。これにより、地球全体での排出削減を経済的に進めることが可能になりました。
問15	答え 1 固定価格買取制度	太陽光や風力などの再生可能エネルギーで発電された電気を、電力会社が一定の期間・価格で買い取ることを国が定めた仕組みです。これにより、発電事業者の収入が安定するため、多くの企業や個人が太陽光発電などを導入しやすくなりました。
問16	答え 4 パリ協定	パリ協定は、温暖化防止のための国際協力の柱です。最大の特徴は、すべての国が責任を持って削減目標を設定し、国際的な監視のもとでその達成を報告する点にあります。